

◎希望の経典「御書」に学ぶ 妙一尼御前御消息

法華経の信心は「冬」のようなものです。

その厳しい宿命転換の戦いがあった初めて「春」を到来させ、福運を築くことができる。ゆえに試練の冬を避けてはならない。

鍛錬の冬に挑戦しゆく勇気があれば、私たちは、成仏という「偉大な春」へ、広宣流布という「最高の春」へと、無限に前進していくことができます。

(『希望の経典「御書」に学ぶ 2』22 ページ)

◎新版 法華経 方便品・自我偈講義

大聖人の仏法を持ちきった人が、幸せにならないはずがありません。しかし、その途上には、自分自身の宿業などからさまざまなことが起きる。「どうして、こんなことが」という場合もあるかもしれない。

そういう現象に、いちいち紛動されてはならない。最後は必ず幸福になるに決まっているからです。

(『新版 法華経 方便品・自我偈講義』78 ページ)